

## 外科学（呼吸器・甲状腺外科学—General Thoracic & Thyroid Surgery—）

### I 教育の基本方針

当教室では、肺癌を代表とする胸部悪性疾患および甲状腺癌の治療に関する臨床研究・基礎研究に取り組んでいる。高度な臨床研究を進める上では臨床力の質の高さが求められる。通常の診療活動の中に常に高い質を求める教育を実践し、能力向上に努めている。

外科では初期臨床研修を行った後、さらに3年間の大学内外で臨床研修の実績を積んだ後、6年目以降に大学院進学となる。臨床で得た診断・治療技術を基に研究を遂行し、また臨床にフィードバックできる臨床医であるとともに、自立した研究者としての基本的能力を養成する。

### II 年次毎の到達目標

1年次	各疾患について幅広い知識を習得し、手術手技を身につける。
2年次	外科的疾患の病因と病態に関する研究手法を修得し、研究計画を立案する。関連病院において診断と治療を修得する。
3年次	計画に則って研究を実施し一定の成果を目指す。
4年次	研究成果を原著論文にする。学位取得。

### III 担当教員・研究テーマ

教授	近藤 晴彦	外科腫瘍学、呼吸器外科学、肺癌の集学的治療、転移性肺腫瘍の外科治療
教授	平野 浩一	甲状腺外科、頭頸部腫瘍外科、機能温存手術
特任教授	宮 敏路	固形癌の化学療法、集学的治療 抗癌剤の薬物動態学
准教授	田中 良太	呼吸器外科学、肺癌の画像診断、外科教育、病理・細胞診断学、分子生物学

### IV 研究指導補助教員

講師 長島 鎮 橘 啓盛 須田一晴  
助教 吉田 勤

### V 授業科目一覧

種別	科目名	単位	開講時期	標準履修年次
講義・演習	講義・演習	4	半期	1年次
実験・実習	実験・実習	8	通年	2年次又は、 1－2年次
専門分野 共通科目	課題研究	8	通年	3年次又は、 2－3年次
	研究論文演習	4	通年	3年次又は、 4年次

開講年度	2019	開講時期	半期	標準履修年次	1年次	単位	4
科目名	講義・演習						
担当教員	近藤晴彦、平野浩一、宮敏路、田中良太、橘啓盛、長島鎮						
曜日・時限等	春学期： 金曜日 3・4時限 (13:15-14:45・15:00-16:30) 秋学期： 金曜日 3・4時限 (13:15-14:45・15:00-16:30)						
教室等	S-6カンファレンスルーム B 内視鏡室						
教育の基本方針	広い見地に立った研究を遂行できるよう、呼吸器外科学・甲状腺外科学において必要とされる専門知識と技能を培う。						
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 呼吸器・甲状腺疾患に関する疾患、病態を理解する。</li> <li>2. 呼吸器外科・甲状腺外科の外科手技について専門医としての見識を学び、その特異性を習得する。</li> <li>3. 気管食道外科について、一般消化器・呼吸器外科との差異を理解し、専門医としての見識を身につける。</li> <li>4. 呼吸器・甲状腺外科の位置づけ、特異性を理解し、専門医としての見識を学ぶ。</li> <li>5. 肺移植の適応と実際を理解する。</li> </ol>						
学習内容	呼吸器外科学・甲状腺外科学に関する最新の英語原著論文を抄読し、研究目的、方法、結果について理解し、当該研究の意義、問題点、残された課題について討論する。						
授業計画	回数	講義内容	担当	春学期	秋学期		
	第1回	呼吸器疾患の病態	須田	04/19	09/20		
	第2回	呼吸器外科学術前術後管理	橘	04/26	09/27		
	第3回	肺癌病理・細胞・画像診断	田中	05/10	10/04		
	第4回	肺癌の組織診断法技術	田中	05/17	10/11		
	第5回	肺癌の外科治療	近藤	05/24	10/18		
	第6回	肺癌の化学療法・緩和ケア	宮	05/31	10/25		
	第7回	気管食道学総論	近藤	06/07	11/01		
	第8回	気管支鏡	武井	06/14	11/08		
	第9回	肺癌の集学的治療	橘	06/21	11/15		
	第10回	肺癌の手術法①	近藤	06/28	11/22		
	第11回	肺癌の手術法②	近藤	07/05	11/29		
	第12回	術後合併症	長島	07/12	12/06		
	第13回	甲状腺外科	平野	07/19	12/13		
	第14回	手術シミュレーション	田中	07/26	12/20		
	第15回	肺・気管移植・人工器官	長島	08/02	12/27		
準備学習と授業外の学習方法	授業計画のテーマについて事前に文献などを調べてくること。関連学会や班会議等には積極的に参加して、最新の知見を得る努力をすること。学習指導書等に挙げた文献・参考書等を学期中に読むこと。専門領域における他科のカンファレンスに参加し知識を深める。CITI Japan(e-learning)の医学研究者標準コース(15単元)を受講すること。						
学習指導書 (テキスト・参考文献等)	呼吸器外科テキスト-外科専門医・呼吸器外科専門医をめざす人のために 南山堂 2016年 呼吸器外科学 南山堂 2009年 一般外科医のための呼吸器外科の要点と盲点 文光堂 2001年 呼吸器外科手術書 金芳堂 2007年 新臨床腫瘍学 改訂第3版 日本臨床腫瘍学会編、南江堂 2012年 気管支鏡 日本呼吸器内視鏡学会編 医学書院。2000年 ESTS Textbook of Thoracic Surgery 2014年						
成績評価方法	レポート提出 (50%) 口頭試問の実施 (50%)						
成績評価基準	21ページ「9.成績評価」又は、以下URLの「5.成績評価」を参照 <a href="http://www.kyorin-u.ac.jp/univ/graduate/medicine/aboutus/outline/">http://www.kyorin-u.ac.jp/univ/graduate/medicine/aboutus/outline/</a>						
備考	上記の日時に参加できない時は、協議の上で別途具体的な時間割を決定する。質問等の受付は随時。 連絡先； 外科学(呼吸器・甲状腺)教室 内線 2943、Email: h.kondo@ks.kyorin-u.ac.jp 抄読会、症例検討会、その他教室内の非定期的な勉強会には必ず出席すること。						

開講年度	2019	開講時期	通年	標準履修年次	2年次又は、1-2年次	単位	8
科目名	実験・実習						
担当教員	研究テーマにより決定する。						
曜日・時限等	原則として、毎週月・火曜日の午前中（1・2時限） ※参加が難しい場合には各ケースで協議のうえ具体的な時間割を決定する。						
教室等	S-6カンファレンスルーム、手術室、内視鏡室、外来、病棟、研究棟406研究室						
教育の 基本方針	肺癌など胸部悪性疾患および甲状腺癌の領域において、臨床の質の高さを追求するためにかけせない科学的な問題解決能力、研究能力、および社会医学の観点からも高い倫理観・使命感をもつ人材を養成することを目指します。						
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 呼吸器疾患または甲状腺疾患に対する適切な手術手技・治療能力を修得する。</li> <li>2. 肺癌の病態や腫瘍の特性を理解し、診断の手技や能力を修得する。</li> <li>3. 内科的治療、放射線治療を含めて、治療法の適切な選択能力を修得する。</li> <li>4. 臨床例の症例報告ができる。</li> <li>5. 臨床の現場において自ら課題を設定して、自立した研究を行うことができる。</li> </ol>						
学習内容	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 肺癌に対しての肺葉切除などを、自らの責任で行うことができる。</li> <li>2. 肺癌、または甲状腺癌の診断と治療法の選択を適切に行うことができる。</li> <li>3. 外科治療症例では、適切な周術期管理と合併症対策をおこなうことができる。</li> <li>4. 臨床現場からのテーマに関して、文献検索や実験等を行って、まとめていく。</li> </ol>						
授業計画	履修者の研究内容によって個別に指導を行う。						
準備学習と 授業外の 学習方法	学習した実験手技を繰り返し行い、安定で信頼性の高い技術を修得する。 研究テーマに沿った原著論文を読み疑問点を抽出すること。 学習指導書等に挙げた文献・参考書等を学期中に読むこと。 専門領域における他科のカンファレンスに参加し知識を深める。						
学習指導書 (テキスト・参考文献等)	呼吸器外科テキストー外科専門医・呼吸器外科専門医をめざす人のために 南山堂 2016年 呼吸器外科学 南山堂 2009年 一般外科医のための呼吸器外科の要点と盲点 文光堂 2001年 呼吸器外科手術書 金芳堂 2007年 新臨床腫瘍学 改訂第3版 日本臨床腫瘍学会編、南江堂 2012年 ESTS Textbook of Thoracic Surgery 2014年 気管支鏡 日本呼吸器内視鏡学会編 医学書院 2008年						
成績評価 方 法	臨床能力・実技（50%）、口頭試問の実施（50%）						
成績評価 基 準	21ページ「9.成績評価」又は、以下URLの「5.成績評価」を参照 <a href="http://www.kyorin-u.ac.jp/univ/graduate/medicine/aboutus/outline/">http://www.kyorin-u.ac.jp/univ/graduate/medicine/aboutus/outline/</a>						
備 考	授業については、協議の上で別途具体的な時間割を決定する。 質問等の受付は随時。 連絡先； 外科学（呼吸器・甲状腺）教室 内線 2943、Email： h.kondo@ks.kyorin-u.ac.jp 抄読会、症例検討会、その他教室内の非定期的な勉強会には必ず出席すること。						

開講年度	2019	開講時期	通年	標準履修年次	3年次又は、2-3年次	単位	8
科目名	課題研究						
担当教員	研究テーマにより決定する。						
曜日・時限等	履修者の研究内容によって個別に指導を行う。 ※参加が難しい場合には各ケースで協議のうえ具体的な時間割を決定する。						
教室等	S-6カンファレンスルーム、手術室、内視鏡室、外来、病棟、研究棟406研究室						
教育の 基本方針	肺癌など胸部悪性疾患および甲状腺癌の領域において、臨床の質の高さを追求するためにかけせない科学的な問題解決能力、研究能力、および社会医学の観点からも高い倫理観・使命感をもつ人材を養成することを目指します。						
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 自らが立案した研究計画にそって研究を実行できる。</li> <li>2. 正しく統計処理ができる。</li> <li>3. 結果を科学的に図表にまとめられる。</li> <li>4. 実験内容を正しく記載し記録できる。</li> <li>5. 自らの研究結果を論文として、学会や医学研究科の研究報告会で発表できる。</li> </ol>						
学習内容	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 自らが立案した研究テーマに必要な情報リテラシーを学ぶ。</li> <li>2. 研究結果を科学的に解析して、適切な結論を導くことができる。</li> <li>3. 関連した論文を熟読し、科学的記述の技法を学ぶ。</li> <li>4. 自らの研究の結果を、科学的に報告する技術を学ぶ。</li> </ol>						
授業計画	履修者の研究内容によって、講義内容は適宜調整し、個別に指導を行う。						
準備学習と 授業外の 学習方法	臨床現場では、学習した実験手技を繰り返し行い、安定で信頼性の高い技術を修得する。 研究テーマに沿った原著論文を読み疑問点を抽出すること。 学習指導書等に挙げた文献・参考書等を学期中に読むこと。 専門領域における他科のカンファレンスや関連学会に参加し知識を深める。						
学習指導書 (テキスト・参考文献等)	呼吸器外科テキストー外科専門医・呼吸器外科専門医をめざす人のために 南山堂 2016年 呼吸器外科学 南山堂 2009年 一般外科医のための呼吸器外科の要点と盲点 文光堂 2001年 呼吸器外科手術書 金芳堂 2007年 臨床腫瘍学 日本臨床腫瘍学会編、南江堂 2012年 ESTS Textbook of Thoracic Surgery 2014年 気管支鏡 日本呼吸器内視鏡学会編 医学書院 2008年						
成績評価 方	学会発表 (100%)						
成績評価 基準	21ページ「9.成績評価」又は、以下URLの「5.成績評価」を参照 <a href="http://www.kyorin-u.ac.jp/univ/graduate/medicine/aboutus/outline/">http://www.kyorin-u.ac.jp/univ/graduate/medicine/aboutus/outline/</a>						
備考	授業については、協議の上で別途具体的な時間割を決定する。 質問等の受付は随時。 連絡先； 外科学（呼吸器・甲状腺）教室 内線 2943、Email： h.kondo@ks.kyorin-u.ac.jp 抄読会、症例検討会、その他教室内の非定期的な勉強会には必ず出席すること。						

開講年度	2019	開講時期	通年	標準履修年次	3年次又は、4年次	単位	4
科目名	研究論文演習						
担当教員	研究テーマにより決定する。						
曜日・時限等	履修者の研究内容によって個別に指導を行う。 ※各ケースで協議のうえ具体的な時間割を決定する。						
教室等	S-6カンファレンスルーム、手術室、内視鏡室、外来、病棟、研究棟406研究室						
教育の 基本方針	肺癌など胸部悪性疾患および甲状腺癌の領域において、臨床の質の高さを追求するためにかけせない科学的な問題解決能力、研究能力、および社会医学の観点からも高い倫理観・使命感をもつ人材を養成することを目指します。						
到達目標	1. 研究の成果を原著論文として投稿する。 2. 国内外の学会、ポスターセッション、症例報告会等で発表を行い、質問者からの問いに適切に答えられるようにする。 3. 博士論文の完成						
学習内容	1. 自らの研究の成果を、論文の形にまとめ上げる。 2. 学会発表のプレゼンテーションの技法を身につける。 3. 質疑応答への対応・討論が自らの考えてでできるように、関連する知見を十分学習しておく。						
授業計画	履修者の研究内容によって、講義内容は適宜調整し、個別に指導を行う。						
準備学習と 授業外の 学習方法	臨床現場では、学習した実験手技を繰り返し行い、安定で信頼性の高い技術を修得する。 研究テーマに沿った原著論文を読み疑問点を抽出すること。 専門領域における他科のカンファレンスや関連学会に参加し知識を深める。						
学習指導書 (テキスト・参考文献等)	呼吸器外科テキストー外科専門医・呼吸器外科専門医をめざす人のために 南山堂 2016年 呼吸器外科学 南山堂 2009年 一般外科医のための呼吸器外科の要点と盲点 文光堂 2001年 呼吸器外科手術書 金芳堂 2007年 臨床腫瘍学 日本臨床腫瘍学会編、南江堂 2012年 ESTS Textbook of Thoracic Surgery 2014年 気管支鏡 日本呼吸器内視鏡学会編 医学書院 2008年						
成績評価 方法	論文の作成 (100%)						
成績評価 基準	21ページ「9.成績評価」又は、以下URLの「5.成績評価」を参照 <a href="http://www.kyorin-u.ac.jp/univ/graduate/medicine/aboutus/outline/">http://www.kyorin-u.ac.jp/univ/graduate/medicine/aboutus/outline/</a>						
備考	授業については、協議の上で別途具体的な時間割を決定する。 質問等の受付は随時。 連絡先； 外科学（呼吸器・甲状腺）教室 内線 2943、Email: h.kondo@ks.kyorin-u.ac.jp 抄読会、症例検討会、その他教室内の非定期的な勉強会には必ず出席すること。						